



導入された

# 省

# 化力

# 養蚕

# をてしざ目を

四月十五日、上引田において  
 養蚕近代化促進対策事業による飼  
 育室および堆肥等の環工式が行わ  
 れ、機械化を導入しての省力化  
 策策が開始されました。

白倉上引田地区で  
 養蚕飼育を機械化

国・県および町の補助金三千七  
 百七万二千円、五七・七％、自己  
 資金一、千七百二十万三千円、四  
 二・三％)です。

近年の農業をとりまく状況は、食糧の需要増進の変化  
 によることに伴って、価格の低迷、水田利用再編対策  
 (本の減産)の推進等、たいへんきびしくなっ  
 ています。このような現状のなかで、いままでも機  
 械化がおくれがらだった養蚕経営に、養蚕近  
 代化促進対策事業によって、自動飼育装置  
 等、一連の作業合理化施設を導入し、上  
 引田養蚕近代化組合を組織して、生産  
 力の増進と養蚕経営の確立を目指し  
 ています。

この事業に参加した農家は、上  
 引田地区の八戸で、農業経営  
 形態は養蚕を中心とする、  
 一人にやく、しいたけ等  
 の複合経営がほとんど  
 です。

## 総事業費は

六千四百万円

養蚕近代化事業の総事業費は、  
 六千四百二十七万五千円(内訳は、

## 養蚕飼育を機械化

この事業は、桑園地力増強施設  
 として堆肥舎・鉄骨アロック造り、  
 百五十平方メートルや社員共同施設  
 として、飼育室二棟(鉄骨造り、  
 のべ千二百平方メートル)、自動飼育装置  
 七十台(飼育能力七十五頭)、その  
 他十数ヶ所関係施設などが整備され  
 ました。

## 省力化で経営の安定を



松井組合長

上引田養蚕近代化組合は、八  
 人で組織しています。

二、三年前から、養蚕にかか  
 る時間を、なんとなく少なくでき  
 ないものかと話しがはじまり、

各関係機関の指導や協力をうけ  
 て、施設ができあがりました。  
 省力化施設を導入したことに  
 より、作業時間が約半分になり  
 ました。たゞ今は、十割分(二



▶ 指導員をまじえて研究会

十三万)の給食は、自動コン  
 テナが、ひとまわり(最高二十  
 分から約一時間)すれば足り  
 すので、たいへん楽になりました。  
 また、共同施設で飼育してい  
 るので、いままでも話を合  
 や研究ができ、手もいさぎよく  
 できます。

これらの施設を導入したことに  
 について、みなさんは、いろい  
 ろの意見をもっていると思いま  
 す。私たちは、省力化すること  
 によっての養蚕経営の安定と  
 規模拡大を考えています。